

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)								
学校運営方針	母校に対する誇りと日本人としての志を持ち、国家・社会及び国際社会の有為な形成者として、自らの在り方生き方を自覚し、知・徳・体の調和のとれた、心豊かで、志をもって意欲的に学び、逞しい生き方のできる人間を育成する。									
昨年度の成果と課題	<table border="1"> <tr> <th>年度重点目標</th> <th>具体的目標</th> </tr> <tr> <td>「生徒自らが考え、創造し、実践していく」基本的な生活及び学習習慣の改善を図る。</td> <td>ア「スコラ手帳」の活用による学習・生活習慣の改善 イ 生徒会活動の活性化による自主・自律の気概の高揚 ウ 生徒の人生設計を具体化するキャリア教育の充実</td> </tr> <tr> <td>「確かな成長を実感させる」取組を推進する。</td> <td>ア 計画的な指導に基づく資格・検定取得の奨励 イ 全教科をととした発信力や論述力の強化 ウ 部活動参加の奨励</td> </tr> <tr> <td>学校・保護者・地域連携の強化を図る。</td> <td>ア 社会貢献ボランティアの具体化 イ 「人材バンク」として地域の教育力の集約と活用 ウ 広報誌やホームページ等による学校発信力の増強</td> </tr> </table>	年度重点目標	具体的目標	「生徒自らが考え、創造し、実践していく」基本的な生活及び学習習慣の改善を図る。	ア「スコラ手帳」の活用による学習・生活習慣の改善 イ 生徒会活動の活性化による自主・自律の気概の高揚 ウ 生徒の人生設計を具体化するキャリア教育の充実	「確かな成長を実感させる」取組を推進する。	ア 計画的な指導に基づく資格・検定取得の奨励 イ 全教科をととした発信力や論述力の強化 ウ 部活動参加の奨励	学校・保護者・地域連携の強化を図る。	ア 社会貢献ボランティアの具体化 イ 「人材バンク」として地域の教育力の集約と活用 ウ 広報誌やホームページ等による学校発信力の増強	
年度重点目標	具体的目標									
「生徒自らが考え、創造し、実践していく」基本的な生活及び学習習慣の改善を図る。	ア「スコラ手帳」の活用による学習・生活習慣の改善 イ 生徒会活動の活性化による自主・自律の気概の高揚 ウ 生徒の人生設計を具体化するキャリア教育の充実									
「確かな成長を実感させる」取組を推進する。	ア 計画的な指導に基づく資格・検定取得の奨励 イ 全教科をととした発信力や論述力の強化 ウ 部活動参加の奨励									
学校・保護者・地域連携の強化を図る。	ア 社会貢献ボランティアの具体化 イ 「人材バンク」として地域の教育力の集約と活用 ウ 広報誌やホームページ等による学校発信力の増強									
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題						
教務課	学力向上と学習習慣の確立	指導計画をもとに生徒個々に応じた予習・復習の仕方や問題集の使い方、課題提出を徹底し、授業へ積極的に参加させることで学力向上を図る。 「朝楷樹の時間」をとおして自ら学ぶ態度を育成し、目標の学習時間を設定することで学習習慣の確立を図る。 様々な場面をとおして高い志を持たせ、それを実現させる計画を能率手帳「スコラ」を用いて立てさせ、基本的学習習慣の確立とPDCAサイクルの定着を図る。 習熟クラスを中心に成績上位層の育成を図り、学校全体の学ぶ意欲の起点とする。								
	授業時間の確保を含めた学習指導体制の充実	ノーチャイムや履修条件により、質の高い授業の実施、自己管理能力の向上を図る。 拡大学年会議等により成績不振者および欠席や遅刻の多い生徒を早期に把握し指導を行う。 机椅子の整理や授業前後の黒板の美化など学習環境の整備に努め、場を清める姿勢を養う。								
	教育諸活動の充実・発展	司書と連携し読書の機会を増やすなどして学習意欲を高める雰囲気高める。 e教務(成績処理システム)の適切な管理および活用に努める。 学習への興味・関心を持たせる授業をするために、全教員がICTを利用した授業を展開できる環境を整備する。 CMSを活用して本校HPの一層の充実を図る。安心メールの配信を工夫する。								
生徒指導課	学校組織としての生徒心得(校則)の遵守	立ち止まってる挨拶の励行、適切な言葉遣いの指導、話しを聞く態度を指導する。 HR、授業時間等全ての時間で全職員による身だしなみを整える指導を行う。 全職員の共通理解の下、指導の徹底を図る。								
	危機管理能力(交通安全教育の充実と公共の場所での危機管理の育成)の育成	携帯電話の乱用等によるトラブルの未然防止に努める。(LINE等) 校内・校外でのマナーアップ意識を定着させる。 自転車通学指導を徹底する。(1年生の指導及び通学路別指導の実施) 盗難及び紛失の撲滅。防犯カメラの移設。(不審者侵入防止含む)								
	生徒会主体の活動の充実と、部活動の強化	様々な学校行事への生徒の興味・関心を喚起し、積極的な参加を目指す。 生徒会の主体的な活動の充実を図る。(各専門委員の活性化) 部活動の充実を図る(リーダーシップの育成、仮入部制度の充実、OBとの連携)								
進路指導課	3年間を見通した進路指導体制の確立と学年の特性に応じた効果的な進路指導	諸検査・調査等による生徒の実態把握・分析および事後指導の充実を図る。 HR活動・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育の企画・実施を行う。 大学入試改革や入試制度、資格検定試験についての動向調査・活用検討を行う。								
	補習授業および模擬試験の一層の充実と生徒一人ひとりの進路希望の実現	校外模試の分析(模試分析会)等により、傾向分析を行い、事後指導の充実を図る。 補習授業の企画・実施について改善を行い、生徒のニーズに応じた内容の充実を図る。 朝補習、放課後補習、土曜講座等補習授業の充実を図り効果的な受験指導体制を整える。								
	進路意識の高揚と、目標達成のために自ら考え、学び、行動できる生徒の育成	大学出張講座や大学訪問等の進路行事での事前・事後指導を通して進路意識を高める。 自学場所を整備し夏季学習会等の行事を通じて、「自学自習」の学習習慣を身につけさせる。 「進路のしおり」を利用しやすい内容となるように検討して、進路資料としての充実を図る。								
研修課	職員研修の活性化	各分掌との連携・協力を密にし、還元しやすい校内職員研修を検討する。 各学年、各分掌の年度反省を校内研修の機会として実施し、組織の活性化に繋げる。 基本研修、キャリアアップ講座、その他の研修について確実に案内する。								
	「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」への対応に係る研修の充実	「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」について校内研修を実施する。 「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の外部研修機会を提供する。 ICT機器の利用、活用についての研修を検討し実施する。								
	人権・同和教育の充実による豊かな感性を持った生徒の育成	人権・同和教育推進委員会を中心にして、人権・同和学習への職員間の共通理解を図る。 人権・同和教育学習指導案の蓄積と整理を通して、人権・同和学習特設授業の充実を図る。 学校行事や授業の場で人権意識に配慮した指導を心掛ける。								

保健課	生徒・職員の健康及び安全に関する啓蒙活動と保健委員の積極的な活動の支援	各種健康診断における生徒、職員の健康状態の把握、指導・助言に努める。 体育的行事における保健委員会の主体的な活動を支援する。 「保健たより」を毎月発行し、健康に関する情報の提供を行う。			
	美化委員会の活性化と、快適な生活環境を整備	校内安全点検を定期的実施し、安全な学習環境を整備する。 清掃用具の充実を図ると同時に、ごみの分別やトイレ掃除の徹底を図る。 美化委員会において、美化コンクールを行い清掃意識を高める。			
	生徒が心身ともに健康かつ安全に生活できるようなサポート	スクールカウンセラー・訪問相談委員との連携を図り、生徒理解に努める。 防災避難訓練・熱中症対策講演会・救急救命実技講習会を実施する。 性教育講演会や非行防止教育等を通し、生徒の意識向上に努める。			
総務課	諸式典の適切な企画・準備と資料および分析を残した改善	式典を適切に企画立案し、その円滑な遂行に努め、学校活性化に寄与する。 式典など資料を記録し、分析・反省・改善に努める。			
	本校教育目標達成のため、各分掌との連絡を密にした校務運営の円滑化・活性化	「新入生のしおり」「各分掌・学年の努力目標」「規定集」「学校要覧」等の編集および作成を行う。 PTA・同窓会・後援会との連携を更に深める。			
	校内施設・設備等の整備と生徒・職員が生活しやすい環境の向上	職員室の整備・備品の充足に努める。 互助会の活動に協力し、職員の福祉増進に努める。			
広報課	広報活動の更なる推進	ホームページの充実をめざすとともに迅速な更新を行う。 「学校案内」、「かしわんタイムス」の内容の充実を図る。 全職員の協力による広報活動を展開できるような企画・運営を行う。			
	広報活動を通じての本校教育目標の達成への貢献	他分掌との連携を強化し、広報的側面の支援・協力を積極的に行う。 記録写真等の記録・管理を行い、必要に応じて提供できるようにする。 学校行事や生徒の活躍等を様々な形で発信できるようにつとめる。			
	広報活動を通じた中学校・保護者・および地域との連携と、本校への志願者の増加に対する寄与	中学生体験入学、PTAの学校訪問、出前授業などを積極的に受け入れた企画・運営を行う。 学習塾や公民館など外部機関への広報活動を積極的に行う。 中学校訪問を効果的に実施し、中学校の進路指導の実情に適したものとする。			
環境科学課	環境教育の体系化	専門科目の授業内容の体系化、教材等の充実を図る。 環境保護活動に向けて他団体と連携する。 E C O委員会を通して環境問題を考えさせる。			
	個性に応じた生徒の対応と創造性豊かな人間づくりを目指す	コミュニケーション能力を養い、問題解決能力、表現力の育成を図る。 体験活動を通し感動体験の充実を図る。 個に応じた進路実現を支援する。			
	情報発信力の養成	出前授業や訪問を通して、地域への情報発信を行う。 環境関連団体との連携を図る。 ホームページにおけるコースの内容を随時更新する。			
第1学年	基本的な生活習慣の確立	起床・就寝・学習開始時間の3点を固定させ、生活リズムを整えさせる。 学校と家庭で生徒の情報を共有し、迅速に対応することで遅刻・欠席を最小限に抑える。 生徒の「できるところ」に目を向け、しっかりと褒めることで自己肯定感を高める。			
	学習習慣の確立	机周りの片づけを毎時間指導し、学習環境を整備する。 授業以外で1日最低1時間(年間700H)学習する必要がある授業づくりをする。 学習時間調査を定期的実施し、学習状況の把握と指導を行う。			
	進路意識の確立	職業や進路に関する情報を提供し、生徒の進路意識を高めさせる。 進路指導課と連携して、総合的な学習の時間を有効に活用する。 個人面談を充実させ、生徒が納得のいく進路選択ができるよう指導する。			
第2学年	基本的な生活習慣の確立 安心安全な学校生活の支援	生徒一人ひとりと向き合い、教師が生徒を大切にすること。 生徒が相手や周囲の人に配慮することができる想像力と行動力を育成する。 出席や挨拶、清掃等の大切さを伝え、自己他者のために行動する人間性の高い生徒の育成。			
	知識・技能の定着と学習環境の定着 主体的に学ぶ姿勢の育成	「何のために学ぶか」を生徒に考えさせながら学習する体制の確立。 主体的に学ぶ姿勢を育成する授業内容・教材の工夫を行う。 落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組みやすい学習環境の整備を図る。			
	進路実現に向けた時間活用の指導	補習授業や模試に対する意識の向上を図り、より積極的な取り組みを促す。 人間性を磨いた上での、正しい職業観を身につけさせ、将来像を持つ生徒の育成。 私立文系に進路実績は確立されているので、理系の進路実現にも力を入れる。			
第3学年	社会人としてのマナー、ルール等の生活習慣の確立	時間の管理、ノーチャイム、規則正しい生活を行う。 空間の確保、学習環境の整備			
	柏陵生らしい行動、言動の実践	礼を正す、敬愛に心、素直な心、感謝する心を育てる。			
	主体的に学び、社会で行動できる自己の形成	授業に集中できる雰囲気づくりと環境の整備を行う。 検定試験合格を目指し、自分の武器を備える。 手帳を利用し、目標達成や自己管理能力を育てる。			
	「日本一」を合言葉に「チーム柏陵」の一体感を持った自己実現に向けた努力	予習、復習を徹底して、学力向上を目指す。 自分で考え、進路に向け、行動できる自分を育てる。 この学校で良かったと思える進路指導を行う。			